

授業概要

分 野		学 科 目		2年後期		90分講義15回 (試験を含む)
専門分野		在宅看護方法論Ⅳ		30 時間	1 単位	
授業科目				講師		
状態別看護、在宅看護における事例展開				看護師、専任教員(実務経験者)		
科 目 目 標	1.在宅療養者の状態に応じた看護を理解する 2.疾患や障がいを持ちながら在宅で生活する小児の看護が理解できる 3.在宅における終末期看護を理解する 4.在宅看護における事例の展開方法がわかる					
	回数	項目	内容			
科 目 内 容	1	在宅療養者の看護	1.在宅療養者の状態別看護 1)難病を持ちながら在宅で生活する療養者 2)寝たきり高齢者(脳血管障害者) 3)認知症のある高齢者			
	2					
	3					
	4					
	5					
	6	疾患や障がいを持ちながら在宅で生活する小児の看護	1. 小児訪問看護 1)小児訪問看護の現状 2)小児訪問看護の実際			
	7	在宅における終末期看護	2.在宅終末期看護 1)価値観やQOLの優先 2)在宅終末期の経過と看護師の役割 3)症状緩和 4)家族・介護者のケア 5)24時間ケア			
	8					
	9	在宅看護における事例の展開	1.在宅看護の主な事例の展開 1)療養者のアセスメント及び援助の方向性 (1)症状や身体状況 (2)生活及び、生活環境 (3)価値観やQOL、在宅看護へ望むこと (4)経済状況、社会資源 2)家族・介護者のアセスメント 3)目標設定の考え方 4)在宅の特徴を踏まえた看護計画 5)社会資源の活用 6)継続看護の重要性			
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15	試験	試験およびまとめ			
【授業形態】 講義、演習						
【評価方法】 筆記試験、提出課題、出席状況						
【テキスト】 ナーシンググラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア メディカ出版 ナーシンググラフィカ 在宅看護論② 地域療養を支える技術 メディカ出版						